



自然の中で、保護者・地域の人とふれあい、なかまと関わる

キラキラ遠足 [赤田] (9月27日)

相和地区には豊かな自然があります。全校児童が徒歩で地域を巡りながらこの豊かな自然を感じる。それと同時に、体力の向上にむけた取組みも兼ねて、「キラキラ遠足」は始まりました。

また、学年の枠をこえた相和っ子班での活動となり、それぞれの班に保護者・地域のボランティアの方々にも入ってもらいました。保護者の方には、あえてお子さんの所属しない班についてもらっています。

今年度は赤田方面に出かけました。途中、獅子窪で休憩をとりました。湧き水の心地よい冷たさにふれ、秋の風の心地よさを感じました。トイレは、前PTA副会長を務めてくださった柳川さんのお宅のトイレをお借りしました。柳川さんは、休憩を終えて再出発した私たちを最後まで見送ってくれました。温かい気持ち伝わりました。

赤田の農村公園に到着し記念写真後に「赤田1周ウォークラリー」をしました。出発する順番を「スタートゲーム」で決めました。ボランティアの皆さんにも加わってもらい、楽しい雰囲気の中でゲームを終えて、それぞれ班ごとにウォークラリーへ向かいました。

その後、農村公園で昼食を食べ、思いっきり遊んだ後に帰路につきました。例年通り、そうわ会館で終わりの会を行います。さすがに誰もが疲れた様子でした。その中で、低学年と手をつなぐ高学年やボランティアの方々の姿、班の応援歌をみんなで歌いながら互いに励まし合って歩く姿など、相和っ子とボランティアの方々とふれあいながら歩きました。昨年度と比べるとずいぶんと逞しくなった2年生の姿にも感心しました。



自分たちで必要なルールを決め、みんなでまもれるようにする～6年生のはたらき～

「校長先生、キラキラ遠足におやつを持って行ってよいですか？」

相和っ子班を代表して6人の班長が、校長室にやってきてこのように私に尋ねました。私は、「キラキラ遠足におやつは必要ないと思っている」と答えると、班長たちの表情はかたくなったように見えました。

その後、班長たちは「おやつのこと」について、みんなで話し合ったことを伝えてくれました。その中で、「キラキラ遠足は、相和っ子にとって特別な行事です」という意見がありました。確かにその通りです。学年の枠をこえたなかまと、励まし合って歩き、協力し合って楽しい一時を過ごすという「なかまと豊かにふれあう相和小ならではの行事」です。おやつのことを通して、キラキラ遠足についてあらためて考えてきたようです。

そこで、おやつについては、6年生を中心に自分たちでその意義を考え、ルールを決め、それをみんなで守り、楽しく過ごせるように、6年生に任せることにしました。

見知らぬ人とIDを交換したり会話したりするこわさ

情報モラル教室（9月25日）

9月25日（水）13:55～14:40、4～6年生児童と保護者を対象に、大井町教育委員会の 大川指導主事と浅井 社会教育主事のお二人をお招きして情報モラル教室を行いました。

スマートフォン・携帯電話・PCだけでなく最近のゲーム機は高度化しています。ゲーム機同士の通信機能を使ったり、インターネットを利用して遊んだり会話したりすることができます。見知らぬ人とIDを交換したり、会話したりすることには、たくさんの危険があることを知っておく必要があります。

道ばたで突然知り合った人と友達になったり個人情報を教えたりするのでしょうか？する人はいないと思います。現実の世界でしないことは、インターネット上でもしません。トラブルにまきこまれないでインターネットを利用するためには次のことが大切です。

- インターネット上で知り合った人を簡単に信用しない
- 自分の写真や個人情報を安易に送らない
- 他人の写真を勝手に送らない

そして、もし嫌な思いをしたり危険を感じたりした場合は、被害が大きくなるうちに、隠さずにお家の人や学校の先生に話すこと、場合によっては警察に連絡することが必要であることを学びました。



さつまいもの収穫 10月1日（火）

畑いっぱい茂ったさつまいものつると葉をみんなで力を合わせて取り除いた後に、いも掘りをしました。土の中で大きくなったさつまいもを掘り出すのにとっても苦労していました。学年の枠をこえた子どもたちが力を合わせて、さつまいもをおらないように丁寧に掘り進めていきます。

18日（金）の収穫祭（学校公開）で、焼きいもにします。子どもたちがみつけたユニークな形のおいもも紹介します。

是非、おいでください。



敬老のつどいで福祉作文発表 「おじいちゃんの幸せ」

相和小学校 5年 北村 心音

9月14日（土）大井町生涯学習センターで開催された「敬老のつどい」で、5年生の北村心音さんが福祉作文を発表しました。

おじいちゃんが畑仕事を生き生きとしている姿をとおして、福祉について考えました。畑仕事を手伝ったときのおじいちゃん的笑顔に、幸せを感じたそうです。

「誰でも、好きなことが続けられる社会であってほしい」という願いを発表しました。

